

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月4日作成)

小委員会名	強震観測小委員会	主 査 名：大野 晋 就任年月：2019年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：長島一郎
設 置 期 間	2019年4月 ～ 2023年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	強震観測とその利用に関する研究と技術開発を推進し、そのための環境整備を通して、建築物・都市の地震災害軽減に資することを目的とする。 初年度：各地域の強震観測に関する情報交換・被害地震の強震観測情報の調査 2年度：観測体制・データ収集・利用方法等に関する現状分析、大会PD 開催 3年度：強震観測データの分析による建物・地盤の地震応答の解明 4年度：強震観測成果をより有効に活用する方法の具体化、シンポジウム開催	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	幹事：神原浩(清水建設)・高井伸雄(北海道大学) 委員：相澤幸治(気象庁)・赤澤隆士(地域地盤環境研究所)・笠松健太郎(鹿島建設)・鹿嶋俊英(建築研究所)・功刀卓(防災科学技術研究所)・重藤迪子(九州大学)・徳光亮一(大成建設)・飛田潤(名古屋大学)・中村充(大林組)・三浦弘之(広島大学)・吉田治雄(竹中工務店)	
設置WG (WG名：目的)	強震観測成果活用WG：これまでの活動成果をもとに構築・整備を進めている「強震観測アーカイブ」などに基づいて、強震観測成果の活用に関する検討を行う。	
2020年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://wiki.arch.ues.tmu.ac.jp/smo_aj/

項 目	自己評価
委員会開催数	4回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「東日本大震災から10年 ― 建築振動分野の課題と展望」(振動運営委員会全小委員会で共同) 参加者数 140名 『同名資料』
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各地域や機関の観測事例、最新の観測機器とシステム、データ活用の動向、強震観測の普及展開・利用促進における課題に関する検討を行い、当該分野の連絡会としての機能を果たした。 2. 普及資料「強震観測の手引」と基礎資料「強震観測建物台帳」の拡充を行うとともに、それらをまとめた強震観測アーカイブの活用について検討した。
委員会活動の問題点・課題	1. 強震観測の普及とデータ活用に向けた継続的な取り組み 2. 関連する他の小委員会、関連学協会等との情報交換、連携